

労災ケア通信

第96号

2026年8月15日

発行：一般財団法人
労災サポートセンター

〒102-0073

東京都千代田区九段北4-1-3
飛栄九段北ビル10F

TEL 03-6834-2510(代表)

FAX 03-6834-2530

ホームページアドレス

<https://www.rousaisc.or.jp>

ケアプラザだより

ケアプラザ岩見沢

「ボッチャの季節がやってきた！」

行事委員

5月13日（水）、施設のアトリウム



渾身の一投！投げる方も、見守る方も真剣なまなざし！



プレーの合間には、飲み物と菓子でほっと一息

（多目的広場）で、毎年恒例のボッチャ大会を開催しました。広々としたアトリウムはゲーム開始直後から大いに盛り上がり、参加された方々の表情は真剣そのものでした。

一投ごとに周りから歓声や拍手がアトリウムに響き、狙いを定めるその目は真剣そのものの、最後には時間を忘れて笑顔でプレーされていました。

試合の合間に利用できる喫茶コーナーには飲み物とお菓子が用意され、試合を終えた方から順に利用されていました。

誰もが主役になれるボッチャを通じて、入居者同士の交流が生まれ、程よい運動を楽しみながら絆がぐっと深まった素敵な一日となりました。

「お腹も心も大満足！」

大人気の焼肉昼食会

行事委員

6月10日（水）入居者の方々が毎年心待ちにされている「焼肉昼食会」を開催しました。

この日のために、中庭にはバーベ



次々と炭火で焼き上げられた、カルビ、豚トロ、手羽先、イカ、ほっけ、アスパラ、とうきび等々



焼きたて熱々、どれも香ばしくジューシー、つい食べ過ぎてしまいます…

キューコンロが設置され、何種類もの肉や魚、色鮮やかな野菜などが用意され、炭火で香ばしくジューシーに焼き上げられていきました。

介護職員が焼き立ての一番美味しい状態で、待ちかねた入居者の方々に次々とお配りすると、美味しそうな香りと笑顔が広がり、夕食が食べられなくなってしまうほどたくさん食べた方もいらっしゃいました。

さらに今年は、入居者の方からの要望で「手羽先」が初登場し、大好評でした。お腹いっぱい食べて今年も大盛況のうちに幕を閉じました。

ケアプラザ富谷

「施設間移動」

「ケアプラザ四街道へ」

総務課

入居者の熊田三十三さんが、5月20日（水）にケアプラザ四街道へ施設間移動されました。

熊田さんは、令和5年9月に入居され、約2年半ケアプラザ富谷で生活されました。明るくひょうきんな方で、行事にも積極的に参加してくださいました。

ミニ旅行ではにこやかな表情で一緒に写真撮影をしたり、カラオケ大



ミニ旅行でにこやかな表情の熊田さん(向かって右)

会では最優秀賞を受賞されたこともありました。

印象に残っていることをお尋ねしたところ、介護タクシーで外出し、馴染みのドライバースさんと買い物をしたことだとお話しされていました。

ケアプラザ四街道では以前自宅で行っていたピースアートなどの制作活動をしたという希望をお持ちです。これからもお元気で穏やかに過ごしいただき、時にはケアプラザ富谷で過ごした日々を思い出して下さいね。

「芸能を観る会を開催」

総務課

5月27日（水）、施設内で「芸能を観る会」を開催し、日本舞踊 山根流の方々にご出演いただきました。

華やかな着物に身を包んだ踊り手の方々が、情緒あふれる音楽に合わせて優雅な舞を披露してくださいました。

一つひとつの演目に込められた表現や美しい所作、そして色鮮やかな衣装に入居者の皆様は熱心に見入られ、演目が終わるたびに大きな拍手を送っていました。

「素晴らしい踊りに感動した」といった声が多く聞かれ、日本の伝統文化に触れる貴重で楽し



華やかな衣装と優雅な踊りにうっとり

いひとときとなりました。

ケアプラザ四街道

「佐倉草ぶえの丘へバスハイク」

行事委員会

5月27日（水）五月晴れの空のもと施設からバスで30分ほどの「佐倉草ぶえの丘」へ出かけました。

園内のバラ園には色とりどりの花が咲き誇り、甘い香りに包まれながら思い思いのペースで散策を楽しみました。

散策中には、校外学習で来園した子どもたちと笑顔であいさつを交わ



笑顔で記念撮影！

す場面も。

参加者からは、「自然の風が気持ちよかった」「緑とお花がきれいだった」といった声が聞かれました。売店で苗を購入した入居者の方は、施設に帰った後、すぐに菜園で植え替え作業を実施。外出の楽しさがそのまま日常へとつながる、温かな一日となりました。

「25年ぶりの勤務地で」

総務課 角田 一臣

こんにちは、6月からケアプラザ四街道で勤務することになった角田と申します。

25年前にも勤務させていただいたことがあり、自分的にはとても懐かしい思い出の施設での勤務となっております。

いろいろと変わった点や、逆に変わらずに今でも続いていることに、その都度感心したり、懐かしくなったりしています。

大阪、愛知と他のケアプラザも経験しておりますが、平成4年にオープンしたケアプラザ第1号のケアプラザ四街道には何とも歴史を感じてしまいます。

ケアプラザ四街道におきましても他施設での経験を活かし、入居者の方々の快適な生活を支えるため日々働いている施設の職員の役に立てよう、勤務していきたいと思っておりますので、よろしく願います。



「皆様の快適な生活を支えます」角田総務課員

ケアプラザ瀬戸

「求人募集に公用車が大活躍」

総務課

ケアプラザ瀬戸では、開所から30年以上経過し、定年で退職する看護師さん等の後任を随時募集しています。全国的に不足している看護師さんの求人はなかなか難しく、インターネットやハローワークを通じて常に募集していますが、良い結果が出ていないことから、「新たな求人募集方法」を模索していたところ、公用車に募集を掲載するという提案があり、さっそく実行しました。



走る！求人募集の効果に期待しています

公用車側面に『看護師さん募集』と書いたマグネットシートを作成し貼ってみました。

すると業務運行の途中で停車している時に公用車の写真を撮る方や、車の募集を見ましたと求人問合せの電話が数件あり効果があつたようです。この機会に良い出会いがあればと職員一同楽しみにしております。

「就任のご挨拶」

施設長 村井 秀吉

このたび、6月1日付でケアプラザ瀬戸の施設長に就任いたしました村井でございます。

3月まで厚生労働省で三十数年勤務して参りましたが、入省当初は、労働基準監督署の窓口で労災保険給付の業務に携わっていましたので、労災事故で負傷された方や、そのご家族からの相談を受ける機会も多く、いろいろな職場で活躍されていた方が突然の労働災害などで重度の障害、



「入居者の方々が安心した生活を送ることができるよう努めます」
村井施設長



傷病を負われ、行き場のない思いなどを聞かせいただく場面もありました。

それから三十数年が経ち、再び、労災年金を受給されているみなさまを支える仕事に就いたことに何かのご縁を感じ、施設の責任者として入居者のみなさまが健康で安心した生活を送ることができるよう努めて参りますのでよろしく願います。

ケアプラザ堺

「光と風を感じて気分転換」

介護課

5月13日（水）、午前・午後と2回に分けて、和泉リサイクルセンターへ散策に行きました。職員4名と入居者の方々8名がマイクロバスに乗り込み、現地へ向かいました。

この時期、和泉リサイクルセンターは、ラベンダーとバラが咲き誇っていました。花の中の小道を車椅子で散策し、紫・赤・黄色・ピンク等

「めずらしい訪問者」

介護課

ケアプラザ堺に珍獣アライグマがやってきました。

アライグマは北アメリカ原産の野

色とりどりの花を觀賞しました。指差したり、顔を近づけて香りを楽しんだりと笑顔になることも。

入居者の方々は、時々日陰に入り、お茶など水分補給を行い、ゆっくりとした時間を過ごされました。日頃、施設の室内で過ごす入居者の方々が、自然の中で光と風を感じながら良い刺激を受け、気分転換が出来たと思います。



色とりどりの花を楽しみながら木陰でひと休み



施設の非常階段で発見されたアライグマ

生動物です。もともと日本にはいない外来種でしたが、ペットとして海外から輸入され、飼うことができなくなつて野外に放たれたアライグマが繁殖しているそうです。

今では、多くの都道府県で野生のアライグマが確認されていて、当施設でも最近になって見かけるようになりました。

りません。親のアライグマも再び見かけた時は、やせ細っていてとても可哀想でした。

施設の安全管理や衛生面の観点から対策が必要な状況であるため、市役所と相談して対応を検討中です。

「ケアプラザ呉祭り」

総務課

6月14日(日)に「ケアプラザ呉祭り」を開催しました。

祭りは二部制で、第一部は見学会&相談会、第二部は音楽祭の構成で実施しました。

この日のために祭りのチラシを作成し、入居促進のお手紙とあわせて中国地方五県にお住まいの労災年金受給者の方々へ郵送し、参加を呼びかけました。

また、近隣住民の方々にもご参加いただけるよう、近くの南ハイツ自治会でチラシを配付していただきました。

見学会&相談会には、事前予約2組の他に4組、合計6組の方々にご参加いただき、施設内をゆっくりご覧いただくことができました。

見学いただいた方からは、施設の

ケアプラザ呉



地域の皆さんと一緒に生演奏を楽しみました

広さへの驚きや、入居費に関するご意見が多く聞かれました。

また、事前予約をいただいた1組(4名)については食堂で昼食のカレーを試食していただき、施設での生活の雰囲気を感じていただくことができました。

お試してショートステイを利用してみたいとの相談も多数あり、ご要望に応じて対応していく予定です。

午後から開催した音楽祭は、昨年に続き、音楽ボランティアとして活動されているサウンドメイツの皆様14名にお越しいただきました。

入居者26名、南ハイツ自治会の住民10名の方々が参加し、迫力ある生



誕生日おめでとうございます！ のあたたかな気持ちをこめて

今年度から新たな取り組みとして、入居者一人一人の誕生日当日にバス・スー・ソングを歌い介護課職員が手作りしたバス・スー・カードを手渡し、お祝いをしています。

介護課

「誕生日カード プレゼント大作戦」

演奏を思う存分楽しんでいただくことができそうです。
今後も入居者の皆様に潤いのある生活を送っていただけるよう、近隣地域との交流などを積極的に進めていきます。

ものです。
照れくさいのか、恥ずかしそうにされる方もいらっしゃるようですが、大喜びされる方も多く、反応は様々です。普段あまり話をされない入居者の方も、誕生日をきっかけに、気さくに話しかけて頂けるようになりました。誕生日カードは、事前に撮らせて頂いた顔写真を台紙に貼り、折り紙で作った季節の花や飾りで装飾した手作りです。
お渡しした後も居室内に飾っていただき、いつでも見て楽しんでいただいています。
ささやかな取り組みですが、着実に入居者の方々と今まで以上に良好



誕生日カードは心を込めて手作りしています！

なコミュニケーションが取れるようになってきていると実感しています。これからも入居者の方々とこの繋がりを広げていきたいと思っています。

ケアプラザ新居浜

「入居1周年を迎えて」

入居者 梅田 石夫

私は、2万トン級の貨物船などの乗組員として働いていた元船員で、ある日、停泊準備中に切れた係留ロープが両下腿に当たり、右脚を失う重傷を負いました。

受傷後は、家族やデイサービスの介護を受けながら暮らしてきましたが、パンフレットでケアプラザ新居浜のことを知り、家族とも色々話し合った結果、入居させていただくことになりました。

ケアプラザでは、病院受診の送迎や買い物ツアー等の趣向を凝らした様々な行事に加え、職員やパートの



「行事運営委員としての想い」
総務課 宇都宮 理紗
私は、施設行事の企画・運営に携わり6年目になります。
入居者の皆様に日々の生活の中で少しでも楽しんでいただきたいという想いで職員一同、アイデアを出し

皆さんの明るい対応で、日常生活がまるで自宅にいるような感覚で入居1周年を迎えることができました。
これからも施設スタッフの皆さんに支えられ、明るく楽しく前向きに感謝の気持ちで過ごしていきたいと思っています。



いつも明朗快活な梅田さん



納涼祭で入居者の方へ
プレゼントを贈呈する筆者(向かって一番右)

合いながら行事を企画しています。

これまで、観桜会や納涼祭、焼き芋会、年忘れ会といった四季折々の行事のほか、数々の音楽アーティストをお招きして迫力あるライブ等を開催してきました。

準備の最中は、試行錯誤で大変なこともあります。行事開催中に入居者の方々が生き生きとした笑顔を見せてくださり、「楽しかったよ、ありがとう!」と温かいお言葉をいただき、心からやりがいを感じました。これからも思い出に残る行事を届けていきたいと思っておりますので、入居者の皆様も「こんな行事がしたい!」という企画があれば是非ご提案をお

待ちしています!

ケアプラザ宇土

バスハイク

行事運営委員会

5月20日(水)、バスハイクで、「桜の馬場 城彩苑」へ行きました。城彩苑は、熊本市の中心部にあり、日本三名城の一つに称される熊本城のふもと、桜の馬場に位置します。

土産物屋や食事・喫茶の店が23店舗もあり、入居者の方々もそれぞれに買い物や飲食を楽しめました。また、熊本のパネルである熊本



熊本城のふもとで、買い物と飲食を満喫された入居者の方々

城へ足を延ばされた方もいらっしゃる

いました。5月とはいえ、当日は真夏日となり、暑い一日でしたが、それぞれに楽しい時間を過ごされました。

次回のバスハイクは、熊本市動物園を予定しています。

「庄巻」二千株の紫陽花

行事運営委員会

6月10日(水)、施設近くの住吉自然公園へ二千株の紫陽花を見に行きました。

当日は天気も良く、園内を移動しながら青や紫、ピンクと様々な色合いの紫陽花を鑑賞することができました。



紫陽花に囲まれてにこやかに記念撮影する入居者の方々

第21回 労災重度被災者作品展

開催日：令和8年9月16日(水)～18日(金)
会 場：札幌市民ギャラリー展示ホール1・2
所在地：北海道札幌市中央区南2条東6丁目
皆様のお越しをお待ちしております!

ある入居者の方が、「紫陽花の色は土のPH値(ペーハー値)で決まるんだよ」と話をされ、それを聞いていた入居者の方々は「へーっ、そうなんだ」と驚いておられました。同じところに咲いている紫陽花でも少し場所が違っただけで、様々な色合いを楽しめる自然の力に驚かされました。

帰り道には、熊本県出身の漫画家・尾田栄一郎さんが描く『ワンピース』の登場人物「ジンベエ」がある別の公園にも立ち寄り、大満足のミニドライブでした。